HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	大学院授業
Description	第3部高等教育研究グループの活動の記録3
Citation	高等継続教育研究, 4, 164-168
Issue Date	2005-09-20
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/35141
Type	departmental bulletin paper
File Information	4_p164-168.pdf



Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

3. 大学院授業

■教育実践計画基礎論A（水曜日2限・前期）

月　日	テキスト範囲等	報告者	場所
2004年 4月7日	休講	—	—
4月14日	自己紹介・ガイダンス	—	W509
4月21日	有本　章「大学改革の論理」（有本　章・山本眞一編著『大学改革の現在』東信堂、2003年9月）	石山	W509
4月28日	新堀通也「大学改革の歴史」（同上）	滝ヶ平	W509
5月5日	休講	—	—
5月12日	山本眞一「大学改革の政策的展開──その背後にある力学──」（同上）	高橋	W509
5月19日	橘木大三郎「競争原理と大学改革」・大江淳良「企業と大学改革」（同上）	滝ヶ平	W509
5月26日	武内　清「学生と大学改革」・江原武一「大学教授と大学改革」（同上）	石山	W509
6月2日	濱名　篤「大学経営と大学改革」・山本眞一「職員と大学改革」（同上）	上田	W509
6月9日	有本　章「学士課程教育改革の現在」（同上）	星	W509
6月16日	川嶋太津夫「二一世紀は大学院の時代か」（同上）	後藤	W509
6月23日	山野井敦徳「大学改革の実態とその特徴」・村澤昌崇「大学改革の諸相」・天野智水「学長・学部長の改革構想──自由記述の分析──」（同上）	光本	W509
6月30日	立山紘毅「国立大学の公共性」（森英樹編『市民的公共圏形成の可能性──比較憲法的研究をふまえて』日本評論社、2003年2月）	石山	W509
7月7日	木村孟「大学評価と財政」（大学の研究教育を考える会編『大学の自律と自立──組織・運営・財政』丸善、2001年5月）	星	W509
7月14日	まとめ		W509

■教育実践計画論A（水曜日3限・前期）

月　日	テキスト範囲等	報告者	場所
2004年 4月7日	休講	—	—
4月14日	『高等継続教育研究』第3号の原稿の検討	—	W509
4月21日	光本　滋「公立大学における「普遍性」と「地域性」統一の課題──釧路公立大学──」・白取尚弘「産業クラスター形成による産学連携のパートナーシップ──帯広畜産大学──」（北海道大学大学院教育学研究科教育計画講座高等教育研究グループ『高等継続教育研究』第2号、2003年3月）	星 高橋	W509
4月28日	石山貴士「地域社会における短期高等教育像の模索」（同上）	佐々木	W509
5月5日	休講	—	—
5月12日	上田理子「教員養成課程に期待される地域社会とのパートナーシップ──北海道教育大学釧路校──」（同上）	滝ヶ平	W509
5月19日	姉崎洋一「大学と地域社会とのパートナーシップ構築の現実と課題──2002	上田	W509

	年度調査に寄せて──」（同上）・鈴木敏正・姉崎洋一・室橋春光・椎名　恆・大沼義彦・丸山美貴子「リーズ地域の大学と諸機関の連携──発達・学習支援ネットワークの事例分析──リーズ地域調査中間報告──」		
5 月 26 日	天野郁夫「課題の設定と分析の方法」 第 1 章　新潟県における高等教育の構造 (1) 藤村正司「地域の高等教育構造」 (2) 冨江英俊「私立大学の新設過程」 第 2 章　藤村正司「新潟大学と地域交流」 （『新潟県における大学＝地域交流』国立大学財務・経営センター研究報告第 4 号、2000 年 3 月）	高橋	W509
6 月 2 日	第 3 章　大学・地域交流の比較分析 (1) 天野郁夫「はじめに」、(2) 吉田　文「文科系」、(3) 小林雅之「教育系」、(4) 溝上智恵子「工学系」、(5) 吉田　文「医療系」 第 4 章　冨江英俊・藤村正司「行政からみた大学・地域交流」 終章　天野郁夫「総括と展望」 （同上） 2004 年度調査の準備計画について①	滝ヶ平 石山 ・光本	W509
6 月 9 日	オホーツク圏（北網地域）の風土・文化・産業・教育等について 2004 年度調査の準備計画について②	石山 光本	W509
6 月 16 日	道都大学社会福祉学部の沿革・現況について 東京農業大学生物産業学部の沿革・現況について	滝ヶ平 佐々木	W509
6 月 23 日	北見工業大学の沿革・現況について 北海学園北見大学の沿革・現況について 日本赤十字北海道看護大学の沿革・現況について	上田 姉崎 高橋	W509
6 月 30 日	コンソーシアム・地域連携について 地方自治体・関連団体について	石山 光本	W509
7 月 7 日	調査準備・打合せ		W509
7 月 14 日	調査準備・打合せ		W509

■教育実践計画基礎論 B（水曜日 2 限・後期）

月　日	テキスト範囲等	報告者	場所
2004 年 10 月 6 日	ガイダンス	―	203
10 月 13 日	中央教育審議会「我が国の高等教育の将来像（審議の概要）」（2004 年 9 月）	石山	203
10 月 20 日	H.-G.ガダマー「大学の理念──昨日、今日、明日」・K. M.マイヤー・アビッヒ「公益の利益における大学の理念」（H.-G.ガダマー他『大学の理念──立場決定の試み』玉川大学出版部、1993 年 7 月）	滝ヶ平	203
10 月 27 日	W.レペニース「ドイツの大学の理念──外からの眺望」・M.アイゲン「ドイツ	後藤	203

	の大学──形式の多様性と改革の単一性」（同上）		
11月3日	休講（文化の日）	―	―
11月10日	休講（調査）	―	―
11月17日	H.リュッベ「学問の価値の変遷における大学」（同上）	上田	203
11月24日	J.ハーバマス「大学の理念──学習過程」（同上）	上田	203
12月1日	「はじめに」・「分析の枠組み」・「問題の本質」（T.J.ペンペル『日本の高等教育政策──決定のメカニズム』玉川大学出版部、2004年6月）	石山	203
12月8日	「政治構造の本質」・「陣営対立型の政策形成──大学の管理運営」（同上）	新岡	203
12月15日	「漸増主義型の政策形成──入学定員の拡大」（同上）	于	203
2005年 1月12日	「圧力団体型の政策形成──高等教育の多様化と専門化」・「結論」（同上）	滝ヶ平	203
1月19日	休講（修士論文発表会）	―	―
1月26日	まとめ	全員	203
2月2日	休講	―	―

■教育実践計画論B（水曜日3限・後期）

月　日	テキスト範囲等	報告者	場所
2004年 10月6日	ガイダンス	―	203
10月13日	休講	―	―
10月20日	オホーツク地域の中等教育と大学 オホーツク地域自治研究所に関する情報	光本 石山	203
10月27日	質問事項の検討 2次調査に向けて	姉崎 光本	203
11月3日	休講（文化の日）	―	―
11月10日	休講（第2次大学調査）	―	―
11月17日	2次調査の総括と今後の調査・まとめの方向	光本	203
11月24日	道都大学美術学部調査にむけての質問事項の検討	滝ヶ平	203
12月1日	報告書原稿のタイトル・構成案（内容、アウトライン）についての検討①	全員	203
12月8日	報告書原稿のタイトル・構成案（内容、アウトライン）についての検討②	全員	203
12月15日	休講	―	―
2005年 1月12日	休講	―	―
1月19日	休講（修士論文発表会）	―	―
1月26日	報告書原稿についての検討	全員	203
2月2日	休講	―	―

■教育計画研究法（月曜日3限・通年）

月　日	テキスト範囲等	報告者	場所

2004年 4月5日	休講	—	—
4月12日	自己紹介・前期ガイダンス①	—	203
4月19日	前期ガイダンス②	—	203
4月26日	休講	—	—
5月3日	休講	—	—
5月10日	T. H. マーシャル「アルフレッド・マーシャルの助力を得てたてられる諸問題」・同「十九世紀の終わりまでのシティズンシップの発達」(T. H. マーシャル、トム・ボットモア著／岩崎信彦・中村健吾訳『シティズンシップと社会的階級　近現代を総括するマニフェスト』法律文化社、1993年)	滝ヶ平	203
5月17日	T. H. マーシャル「シティズンシップが社会的階級に与えた初期のインパクト」(同上)	高橋	203
5月24日	休講	—	—
5月31日	T. H. マーシャル「二〇世紀における社会的権利」・同「結論」(同上)	星	203
6月7日	休講	—	—
6月14日	トム・ボットモア「市民、階級、そして平等」・同「資本主義、社会主義、そしてシティズンシップ」・同「シティズンシップについての新しい問題」(同上)	高橋	203
6月21日	トム・ボットモア「変化する諸階級、変化する諸教義」・同「ある種の結論」(同上)	滝ヶ平	203
6月28日	不破和彦「成人教育とシティズンシップ──その関連性と論点──」(不破和彦編訳『成人教育と市民社会　行動的シティズンシップの可能性』青木書店、2002年7月)	星	203
7月5日	ヒョーチョン・パク「韓国における民主主義的シティズンシップ教育──NGOが成人のシティズンシップ教育に及ぼした影響──」(同上)	高橋	203
7月12日	マイケル・コリンズ「シティズンシップ、市民社会そして成人教育──その批判的論評──」(同上)	滝ヶ平	203
10月4日	後期ガイダンス・韓国調査の報告	姉崎	203
10月11日	休講(体育の日)	—	—
10月18日	佐藤一子「「学習の組織化」と社会教育研究の方法」(日本社会教育学会編『講座 現代社会教育の理論Ⅲ 成人の学習と生涯学習の組織化』東洋館出版社、2004年9月)	姉崎	203
10月25日	「成人教育者の養成と能力開発」(パトリシア・クラントン『おとなの学びを創る―専門職の省察的実践をめざして』鳳書房、2004年3月)	星	203
11月1日	「従来の能力開発の方策」(同上)	滝ヶ平	203
11月8日	「自己決定的な能力開発のための方策」(同上)	高橋	203
11月15日	「批判的なふり返り」(同上)	于	203
11月22日	休講	—	—
11月29日	「意識変容的な学習になる」(同上)	滝ヶ平	203

	「仕事や社会的背景の中での意識変容の展開」（同上）		
12月6日	「専門職の能力開発のための新しい展望」（同上）	今田・長田	203
12月13日	「能力開発担当者のための方策」（同上）	滝ヶ平	203
12月20日	休講	—	—
2005年1月10日	休講（成人の日）	—	—
1月17日	休講	—	—
1月24日	笹川孝一「キャリアデザインの力」（小宮山博仁他編『人生を変える生涯学習の力』新評論、2004年5月）	滝ヶ平	203
1月31日	赤尾勝己「生涯発達と学習方法」（同上）	今田	203

■教育計画調査研究（木曜日2限）

修士論文指導（日程表は省略）。